

はまなか

HERE!

議会だより

NO 154

令和7年10月15日発行



9月定例会

予算 審議	霧高生の記者会見とは	2P~4P
二 質 問	4人の議員が町政を問う	6P~9P
	「浜中学」を学んで (野間 来依叶 さん)	10P
	「吉祥」 (柴田 由良 さん)	

表紙の写真

9月12日から開催された札幌オータムフェストに浜中町も参加しました。

出展商品は、花咲ガニの鉄砲汁・煮つぶ・北海しまえび・4・0牛乳・ヨンゼロカッブアイスクリームなどの特産品を販売し、いずれも大盛況でした。

これを機会に浜中町の魅力に触れ、多くの方々の来町を期待します。

補正予算審議から

9月
定例会
3日～4日

霧高生の記者会見とは

9月定例会が3日・4日の2日間の会期で開催。
一般会計・特別会計・企業会計の補正予算と
条例改正など21議案が上程され、いずれも原案
どおり可決しました。
一般会計は9495万円を追加し、予算総額
100億3366万円となりました。
一般質問は、4人の議員が登壇しました。

問 霧多布高校
生徒会議参加負
担金9万円の内
容は。
また、地域未
来留学の取り組
みは。

答 サントリー
グループとコ
ープさっぽろ
の「霧多布の自
然を守ろう」合
同記者会見の場
で、霧校生2人
が作成した30秒
程のショートム
ビーと作成時
の思いなどを発
表した。作成し



子ども・子育て支援金制度とは

たショートムービーは、コ
ープさっぽろの一部店舗で
放映される予定で、高校生
の取り組みをHP・広報誌
や庁舎内のディスプレイで
周知する。
また、未来留学は東京都
で6月21日・22日の2日間
説明会が行われ2年生の女
子2名が参加し、ブースに
は15名ほどの来訪者が有り
対応した。

問 令和8年度から導入さ
れる「子ども・子育て支援金
制度」に伴い医療保険料が
増額となる予定である。こ
の制度は、負担する側も恩
恵を受ける側も認識を共有
することが重要と考える。
町民への周知徹底は。

答 国（子ども家庭庁）が
進める「子ども未来戦略」
の加速化プランに盛り込ま
れた施策。少子化・人口減
少が危機的状況にある中、
全世代で子育て世帯を支援
し人口減少を抑制すること
で、地域社会を維持し国民
皆保険制度の持続性を高め
ることは、かけがえのない
重要な意義を持つもの。
児童手当の拡充・妊婦の

ための支援給付金や子ども
誰でも通園制度などの施策
を着実に進めるため財源の
一部を各医療保険料などの
納付にあわせて徴収する仕
組み。

国民健康保険・後期高齢
者医療保険・被用者保険（協
会けんぽ・共済組合など）
制度によって負担額が異な
る。平均的負担額は一人当
たり月額で、令和8年度2
50円・9年度350円・
10年度以降450円の予定
である。

国において周知されると
思うが、町としても分かり
やすい内容で町民への周知
方法を検討していく。

「ゆうゆ」の修繕料は



ロビー上部の排煙窓

問 専決処分187万円と今回の補正131万円で実施するふれあい交流・保養センター修繕料の内訳は。また、止まっていた源泉の供給が7月末から再開され、浴槽が温泉で満たされるようになったことを町民に周知すべきでは。

答 187万円の修繕は、源泉棟から浴室へ温泉を送るポンプ2基の更新と真水を送るポンプ操作盤の部品交換である。源泉の送水量

が減少し緊急点検の結果、経年劣化により修理不能のことから営業への支障を勘案し8月1日付けで専決処分しポンプ交換を実施した。

131万円の修繕内容はホール・大広間・階段上部にある換気用排煙窓開閉ワイヤー8カ所総延長270mの交換である。

また、源泉復旧のお知らせは、防災無線などで極力早急に対応したい。

はまなか福祉応援券とは

問 はまなか福祉応援券529万円の事業内容は。

答 国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を財源に、物価高騰により大きな影響を受ける人へ応援券を配布する。高齢者で75

歳以上の単身世帯の人、一方が75歳以上もう一方が70歳以上の人のみで構成される世帯の人。

障がい者は、身体障害者手帳1級と2級、療育手帳A判定、精神障害者保健福祉手帳1級から3級の人。ひとり親世帯に属する人、生活保護の人を対象に850人を見込んでいる。

町内で使用できる応援券1冊5千円分を10月中旬より郵送。使用期限は12月末である。

予算の内訳は、応援券425万円と事務費として印

刷代・郵送料・換金委託料で104万円。

観光施設の修繕内容は

問 観光施設修繕料113万円の内訳は。

答 各施設とも経年劣化による機器の故障や資材の腐食により交換・補修が必要となった。

○琵琶瀬展望台男子トイレ換気扇の異音による機器交換2基。

○霧多布岬キャンプ場バンガローのドア交換と床張り替え、ゴミ集積所のドア交換。

○湯沸岬遊歩道の柵補修2カ所。

○琵琶瀬展望台床ウッドパネル補修2カ所。

○湿原センター駐車場トイレウッドデッキ補修。



補修されるバンガロー

ヒグマ駆除等従事者報酬 追加と緊急銃猟への対応は

問 ヒグマ駆除等従事者報酬追加額47万円の内容は。また、緊急銃猟制度の導入は。

答 出動回数を90回と見込み、当初予算74万円を計上

していたが、7月末で57回出動となった。例年秋にかけて多くなることから、不足見込分47万円を補正。

また、緊急銃猟の実施にあたっては、環境省が定めたガイドラインに沿って対



応マニュアルを定める必要がある。ただ、ハンターの身分保障についてガイドラ

インに不明瞭な点があり、環境省の方針待ちとなっている。

フラワーコーディネーターの 委託業務内容は

問 新たな地域おこし協力隊員（フラワーコーディネーター）へ273万円で委託する業務内容は。また、今後の協力隊員募集の取り組みは。

答 市街地の美化に係る活動や事業提案などを委託。具体的には、植栽外の維持管理と地区に適した花苗の選定や苗植えなどを考えている。要望があれば、地域住民が自主的に実施している植栽活動の手伝いやアドバイスをしたり、花が植えられていない植栽外の活用を図ってもらう。

また、新年度にはスポーツコーディネーターの募集を検討中。

小規模事業継続支援補助の内容は

問 事業用備品購入費および事務所改修工事費として81万円の補正であるがそれぞれの内容は。

答 事業者2件分の申請で○菓子製造に伴うオーブン購入費68万円の2分の1で34万円。○事務所玄関ドア1カ所および窓枠2カ所の改修費95万円の2分の1で47万円。

その他の主な歳出（一般会計）

歳 出 の 内 訳	金 額
グループホームなごみ浜中補助(非常用発電機購入)	7 5 7万円
災害対策用備蓄品・備品購入	3 3 2万円
公用車NHKテレビ受信料	1 1 9万円

決算審査特別 委員会を設置

令和6年度各会計の決算書が監査委員の意見書を添えて議会に提出されたことにより、議長を除く8人の議員による特別委員会を設置し、閉会中の継続審査とした。

意見書(可決)

◆国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書 (全員賛成)

可決した意見書は、内閣総理大臣をはじめ関係大臣、衆・参両議院議長に提出しました。

教育委員の任命に同意

教育委員の黒雅臣氏が、10月31日の任期満了をもって退任することから、後任に村元了正氏の提案があり、無記名投票の結果、全員賛成で適任と認め、任命に同意しました。



村元了正氏
(霧多布)

上下水道事業会計 剰余金を減債積立金 に積み立て

地方公営企業法により、剰余金の処分は議会の議決が必要。

水道事業では、令和6年度剰余金1337万円のうち1037万円を減債積立金に積み立て、残額300万円を一般会計に繰り出すもの。

下水道事業では、令和6年度剰余金1655万円のうち1000万円を減債積立金に積み立て、残額655万円を利益積立金に積み立てるもの。

議員研修会に参加

北海道町村議会議長会主催の議員研修会が7月8日に札幌市で開催され、議員9人が参加しました。研修の演題は「地方議会における議員の多彩化に向けて―地域社会の「鏡」としての議会を考える―」、「人口減少社会を生き抜くために」。2人の講師による講演が行われた。



議会広報研修会 に参加

北海道町村議会議長会主催の議会広報研修会が8月19日に札幌市で開催され、議員5人が参加しました。研修の演題は「議会の見える化&住民との信頼築く議会広報の基本と編集」。

議会広報サポーター、芳野政明氏により、全国各地の議会広報誌の解説や北海道内の自治体から応募のあった広報誌クリニックが行われた。

議会映像配信

浜中町議会では、開かれた議会を目指し、より多くの方に議会を知っていただくために、動画配信を行っています。ご覧になる場合は、左記のQRコードを読み込んで視聴ください。



一般質問

渡邊 秀治 議員



問

浜中町公共交通の
現状と今後のあり方は

答

町民の利便性の向上にむけ
協議を重ねていく

渡邊 浜中町地域公共交通活性化協議会は、浜中町地域公共交通網形成計画を策定し、事業を推進・評価してきたがその基本理念は。

町長 基本理念は、町民誰もが安心・安全に住み続けられ、町内への来訪者との交流にも資する公共交通網の構築と掲げられている。行政主導の公共交通網ではなく、町民をはじめとする

利用者の「声」を反映し使いやすい公共交通網を構築することが重要である。

渡邊 現計画は平成30年から6年間にわたり5回事業評価が行われ、第1回の事業評価までに各種調査や実証運行、意見交換会、計画案策定といった活動があったが、その後の4回の事業評価は机上だけでまとめられた感があるが。

町長 現在の計画は当初5カ年の計画だったが、延長され令和7年までとなり、現在は新しい計画の準備中で、今後意見交換会なども予定されている。

渡邊 以下の問題事象への認識と対応策は。
(1) 茶内バス停から特急ねむろ号に乗車しようとしたが満員にて乗れなかった。
(2) 下りのねむろ号が遅れたため町営バスに乗り継げなかった。
(3) ねむろ号へ乗車するため茶内バス停で荒天時に外で待たされた。
(4) 令和7年3月のJRダイヤ改正により早朝の一番列車が減便され、ねむろ

号への町営バスの接続の無い浜中・姉別両駅周辺住民は新たな不便が生じている。

町長 各事象への対応策として、
(1) 事業者に確認したところ、車両のやりくりで通常40人乗りのところ28人乗りでの運行になった。今後は大きな車両にて対応が可能とのこと。

(2) 接続の時間が短い便があるので活性化協議会でダイヤ改正を議題とする。
(3) ねむろ号の待合所として茶内セイコーマートを利用できるようJA浜中町

と協議する。また、関係各機関と敷地内にバスを入れられるよう協議を進めたい。
(4) 今年度中に策定される新計画の中で利便性向上に向けて取り組みたい。



現在町営バスの待合所となっているイートインコーナー



一般質問

三 膳 時 子 議員

問

今回の津波警報での教訓は

答

的確な情報提供と
啓発活動の充実

三膳 7月30日にカムチャツカ半島沖で発生したM8・8の巨大地震で津波警報が発令された。災害時の問題は集約できているか。

町長 避難者数は、合計で1327人、車両台数は904台であった。

問題点としては197件を把握。主に物資ではペットボトルの水が一番不足した。アルファ米に使用する



お湯を沸かすガスコンロがない。トイレがない緊急避難場所では、組立式トイレの野外使用は抵抗がありほとんど活用されなかった。

また、コンテナに無線機を配備していたが、使い方がわからない、無線機があることさえ知らず情報のやり取りができなかった。

三膳 この教訓を経て地域住民と意見交換会を開く考えは。

町長 今後、各自治会ごとに意見を聞く場を進めて行きたい。

三膳 防災無線による情報提供や備蓄品の配布方法は。

町長 避難指示は防災無線で十数回放送し、エリアメールは1回。道路の通行止めは防災無線で1回周知した。今後は、エリアメールでの情報発信が有効と考え、情報提供について検討していく。

備蓄品の配布では一部混乱が生じた。今後、防災訓練や自治会連合会の総会時などでコンテナ内の説明や使い方などの周知に努めて行きたい。

三膳 自助・共助・公助で今後できることは。

町長 自助では、備えの必要性や意識を高く持つてもらうための啓発活動を積極的に行う。

共助では、町民のコミュニケーションが重要になるので防災訓練、防災講演会などに多くの町民が参加するよう啓発強化を進める。

公助では、水門の遠隔操作をはじめ、防潮堤のかさ上げ、津波避難タワーの建設など住民の命を最優先に考えたハード対策を計画通り進めていく。

一般質問

谷村 敦 議員



問

移住・定住支援の
エキスパート部門を

答

ふるさと創生係で
誠心誠意対応していく

谷村 お試し住宅の概要と利用実績は。

町長 令和元年運用開始。1棟1戸平屋建て3LDK。利用者数延べ53人、利用日数794日。

谷村 お試し住宅利用者が実際に移住したことは。

町長 まだ移住に至った人はいない。

谷村 更なる利用者の向上や移住者獲得に向け、霧多

布や茶内地区などの空いている公営住宅を利用し、物件選択のバリエーションを増やす考えは。

町長 公営住宅の活用についてはさまざまな取り決めがあり容易ではないが、今後可能かどうか関係機関と相談していきたい。

谷村 移住促進PRとして実施している活動は。

町長 移住・定住ポータルサイトの作成に取り組んでいるほか、大都市圏で開催されている移住フェアへの出展を続けていく。

谷村 「移住・定住促進課」というような専門機関設置の考えは。既に他の自治体でも取り入れられており成

果が始めているのも事実である。スタッフに移住経験者も加えることで、地方ならではの就職先の問題や地域コミュニティとの関わり方など、不安を抱える相談者へ寄り添った対応が可能と考えるが。



町内唯一のお試し住宅

町長 今年度から設置した「ふるさと創生係」がその役割を担い、誠心誠意業務に当たっていく。地域おこし協力隊である移住交流コーディネーターの協力も得ながら、移住・定住の推進に努めたい。

問 ラッコへの間接的保護と共生は

答 豊かな動植物を守るまちづくりを進めていく

谷村 ラッコの生息地としての環境保護に繋がる取り組みは。

町長 ドローンによりラッコを撮影するなどストレスを与えかねない事例の報告があったため、自粛を求めている。看板の設置を行っている。

谷村 漁業とラッコとの共生に寄与する取り組みとして基金を設立する考えは。

町長 現段階で基金設立の予定はないが、9月1日からふるさと納税（返礼品なし）においてラッコを見守る岬としての寄付も始まった。岬周辺の環境整備に役立てていきたい。



一般質問

渡部 貴士 議員

問

協力隊員増員の考えは

答

各課のニーズを
把握しながら進めたい

渡部 地域おこし協力隊員の活動による具体的な成果は。

町長 移住交流コーディネーターが移住フェアでフラワーコーディネーター候補者を見出し、10月からの採用予定に繋がった。

タウンプロモーション推進員は、町内資源の調査や取材・撮影などを行い、町公式SNSを投稿している。

観光振興PR支援員は、町内の観光スポットや産業の情報収集、サイクリングルートの策定など。

渡部 地域課題や要望などの解決に向けて取り組んでこそ、地域おこし協力隊の特性だと考えるが、町民と協議する機会はあるか。

町長 個人や団体などから意見交換などの依頼があり対応している。

渡部 空き店舗の利活用と人材誘致が地域活性化に向けた最重要課題と考える。今後の募集職種と人数などの予定は。

町長 各分野に関する課題やニーズは、各原課が一番把握しているとの認識のもと原課立案方式を採用し地域おこし協力隊を募集している。現時点で原課から要望が上がっているのは、スポーツコーディネーターであり来年度も引き続き公募

する予定。

問 地震発生時の職員の対応は

答 三役不在であったが、職務遂行してくれた

渡部 カムチャッカ半島沖地震による津波警報で、私自身は役場庁舎に避難をしたが、職員は物資の提供などの災害本部業務を実直に対応していた。町長と教育長は沖縄県与那原町での友

好都市締結の調印式へ、副町長は東京出張で三役が不在であった。町三役が不在になるような事は避けるべきでは。

町長 管理職を含め、職員には大変に迷惑をかけてしまった。

今後は、日程を調整し災害対応には万全を期したい。



タウンプロモーション推進員が作成したSNS

吉祥

「浜中学」を学んで

霧多布高等学校2年A組

野間 来依叶

私たち2年生は、6月に浜中学の一環でインターンシップ活動を行いました。私のインターンシップ先は釧路空港でした。私の将来の夢は酪農家ですが、他の職業を体験してみて、本当に酪農をやりたいのかを改めて考えるきっかけになりました。

インターンシップに参加する前の段階では、「授業だから」という気持ちで割り切っていた部分もありましたが、釧路空港の事前学習を進めていくうちに、自分が知らなかったことを知ることができ、「もっと知りたい」

い」「ここにはどのような課題があるのだろうか」という疑問を持つようになりました。中でも特に印象に残ったのは、ハイブリッド航空機（燃料消費量やCO₂排出量を削減できる航空機）の話でした。このような航空機があることを知らなかったのが大変驚きました。

また、インターンシップ中には、事前学習ではわからない現場の雰囲気を知ることができました。例えば、釧路空港では部署を超えた交流が盛んであることなどです。他には、実際に航空機の着陸を間近で見ることや着陸後の航空機内見学の際にコックピット（操縦室）を拝見させていただいたこともよい体験となりました。

インターンシップの事後学習では、インターンシップ先で学んだことの報告書の作成とプレゼンテーションのスライドの作成に取り組みしました。報告書を作成する中で、新たに知った情

報や、インターンシップ先で学んだことをまとめる作業がとても楽しかったです。

プレゼンテーションのスライドの作成では、どのようにすれば分かりやすく伝わるか、どの情報を入れるべきかなど悩むことも多々ありましたが、最終的には自分で納得のいく形でまとめ、発表することができました。

私は今回、浜中学を通して行った釧路空港でのインターンシップ体験で、新しい職業について知ること、自分の成長を実感することができましたし、インターンシップ報告書を書き上げることで、一人で準備し、発表するという経験を通じて、自信を得ることができました。

● 揮毫 3年A組 柴田由良さん

● 読み方 吉祥 (きつしょう)

● 意味 良い兆しのこと



町のトピックス



「タスキに思いをつないで」

9月6日撮影

9月6日「第38回浜中町民駅伝大会」が開催されました。アイスビードAチームは日頃のトレーニングの成果を十分に発揮し、出場チーム全体で1位となる輝かしい成績を収めました。来年の大会も盛大に開催されることに期待します。

この欄に掲載するまちの季節の写真をお寄せください。
 次回の発行は令和8年1月15日です。

町のトピックス(話題)を
 募集します!

ご応募はこちらへ 浜中町議会事務局 E-mail: gikai@town.hamanaka.lg.jp TEL: 62-2265